

2025年9月1日
矢崎エナジーシステム株式会社

クラウド型運行管理システム『ESTRA-Web2』 「DoCoMAP（ドコマップ）」とAPI連携サービスを開始 ～ 業界のニーズに応え、物流業界のDXを推進 ～

矢崎エナジーシステム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢崎 航、以下「矢崎」）は、2025年9月より、クラウド型運行管理システム『ESTRA-Web2』のAPI連携サービスを通じて、株式会社ドコマップジャパン（本社：東京都港区、代表取締役：浦嶋 一裕、以下「ドコマップジャパン」）が提供する「DoCoMAP※1（ドコマップ）」への情報連携を開始いたします。

本サービスにより、矢崎が提供するYDXシリーズ通信型デジタルタコグラフから取得した車両の位置情報、速度、作業ステータスなどの運行情報を、ESTRA-Web2 API連携サービス※2を介してDoCoMAP上に表示することが可能となります。

今回の連携により、物流企業は既存の機器をそのまま活用しながら、導入の手間を最小限に抑えて動態管理の効率化を実現できます。より多くの企業に、手軽にDXのメリットをご体感いただける仕組みとなっております。

矢崎は今後も、ユーザーの多様なニーズに応じたサービスを展開し、利便性の高いソリューションを提供してまいります。なお、本サービスのお申し込みは、矢崎指定代理店を通じて受け付けております。

■対象機器

・通信型デジタルタコグラフ（YDX-5/YDX-7/YDX-8）にてESTRA-Web2サービスをご利用の方

※1：DoCoMAPとは（<https://www.docomap.jp/docomap>）

DoCoMAPとは、Google Mapsをプラットフォームに、車両に取り付けたGPS端末から送信される位置情報をリアルタイムで表示・管理する動態管理サービスです。様々なデバイスからのGPSデータを一元的に取り込み、最適な方法で「車両の見える化」を実現できるマルチデバイス対応プラットフォームとして利用できます。操作性に優れたユーザーインターフェースにより、自社車両の位置を正確かつ迅速に把握できるほか、必要に応じて車両位置情報を取引先と共有することも可能です。

*DoCoMAPは株式会社ドコマップジャパンの登録商標です。

※2：ESTRA-Web2 API連携サービスとは

ESTRA-Web2 API連携サービスは、運行管理プラットフォーム「ESTRA-Web2」と外部システムをシームレスにつなぐ機能です。APIを介して、運行データ・動態データ・ドライバー情報をリアルタイムに取得・送信できるため、業務システムや配車管理、勤怠管理、給与計算などの統合をスムーズに実現します。これにより、二重入力や情報の分断を解消し、業務効率の向上と正確なデータ活用を強力にサポートします。

本件に関するお問い合わせ先
矢崎エナジーシステム株式会社 計装営業統括部
Tel. 054-283-1156